

変化の先頭に



www.marklines.com

マークライズ株式会社

決算補足説明資料

2025年第3四半期

2025年11月13日

Copyright © 2025 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

また、本書に記載されている当社グループ以外の企業等にかかる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について保証するものではありません。

マークライズ株式会社

目次

I. 業績サマリー

II. セグメント別損益

III. 参考情報

I. 業績サマリー

連結業績サマリー

(単位：百万円)

	2024 Q1-Q3	2025 Q1-Q3	前年同期 比(%)	要 因
連結売上高	3,991	4,162	+4.3	プロモーション広告事業を除き全般的に苦戦を強いられ前年同期比4.3%の増加にとどまった。
連結営業利益	1,585	1,536	△3.1	売上高が低調だったことに加え、前期下期に設立したベンチマークセンターなどの固定費が増加した影響から前年同期比3.1%の減少。
連結経常利益	1,581	1,563	△1.2	営業利益が前年同期比3.1%減となったが、受取利息及び受取配当金を計上したことなどにより前年同期比1.2%の減少。
親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1,128	1,088	△3.5	経常利益が前年同期比1.2%減となった影響を受け、前年同期比3.5%減少。

連結業績サマリー

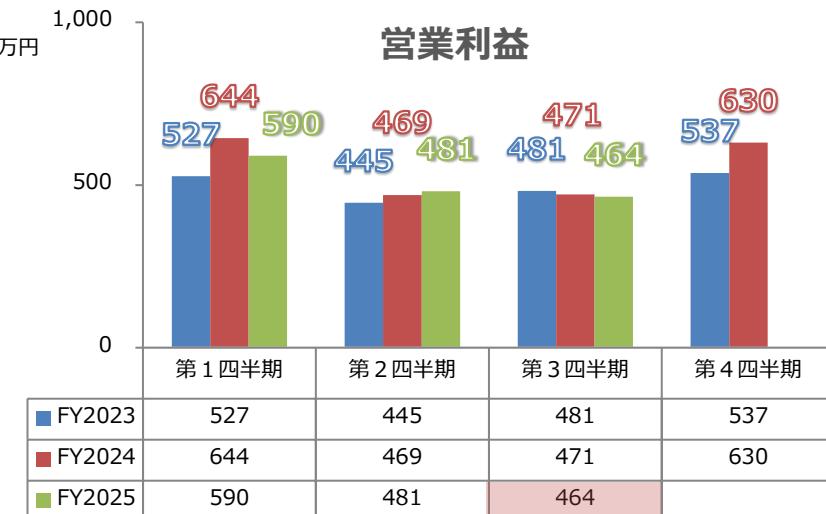
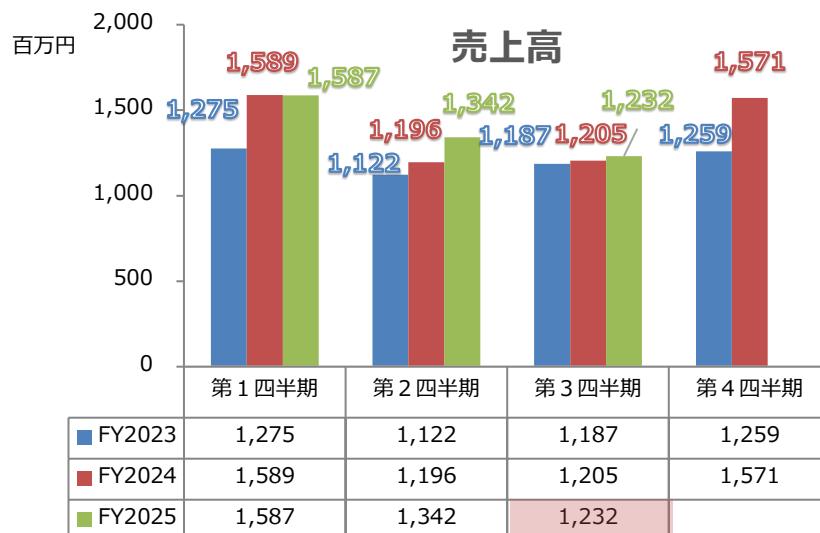
連結業績の推移



連結業績サマリー

四半期毎の連結業績の比較

- Q1について、前期Q1は車両分解・計測事業で一過性の売上が計上されるなど前年同期の業績が特に好調だった反動を受けたこと、BYDなど新興メーカーの台頭が一部の自動車/部品メーカーの業績悪化を招き当社サービスへの受注動向に影響を与えたことにより前期に及ぼなかった。利益面については、前期下期に設立したベンチマークセンター、深圳子会社、及び福岡コールセンターに係る固定費増の影響も受け前年同四半期比で減少した。
- Q2について、米国の関税政策に係る影響が見通せないことから多くの自動車/部品メーカーが予算執行を差し控えた結果、当社の市場予測情報販売、プロモーション広告事業を除く各サービスの受注動向に影響を与えた。ただ、市場予測情報販売、及びプロモーション広告事業が引き続き好調に推移したこと、及びコンサルティング、車両分解・計測、分解調査データ販売事業における受注が対前年同四半期で改善したことなどから売上高、営業利益ともに増加した。
- Q3について、米国の関税政策の行方は一応の決着を迎えたが米国の関税が日系・欧州メーカーの業績に与える影響は大きく、また、中国市場においても競争が激化しており自動車業界を取り巻く環境は厳しさが増している。このような状況から当社が展開している各サービスの受注も第2四半期に続き苦しい状況が続いたが、円安効果により情報プラットフォーム事業の売上が増加するなど連結売上高としては前年同四半期を上回った。一方、営業利益については、人件費など固定費増加の影響を吸収しきれず減少した。

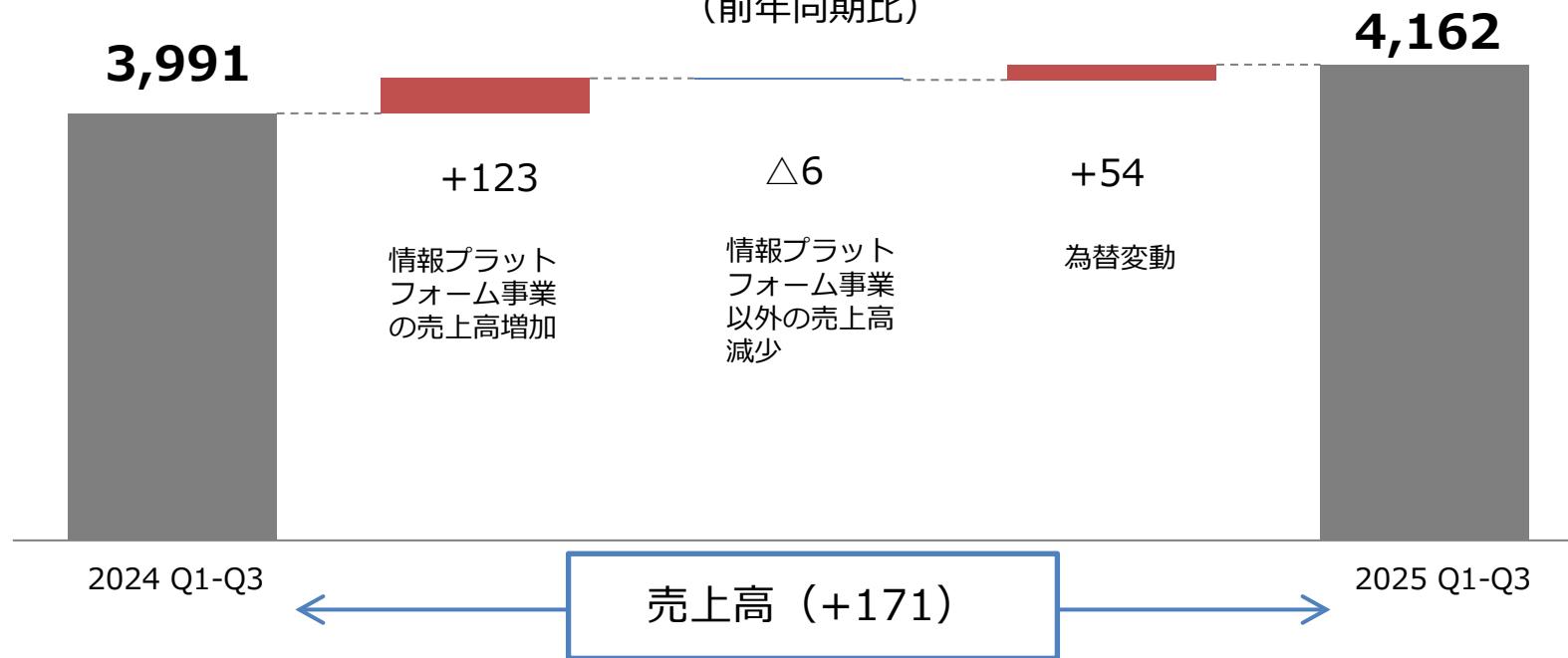


連結業績サマリー

(単位：百万円)

連結売上高増減要因

(前年同期比)



情報プラットフォーム事業以外の売上高増減の主な内訳

- プロモーション広告事業の売上高は21百万円増加した。
- 人材紹介事業の売上高は14百万円増加した。
- 車両・部品調達代行業務の売上高は43百万円減少した。
- 車両分解・計測事業の売上高は24百万円減少した。

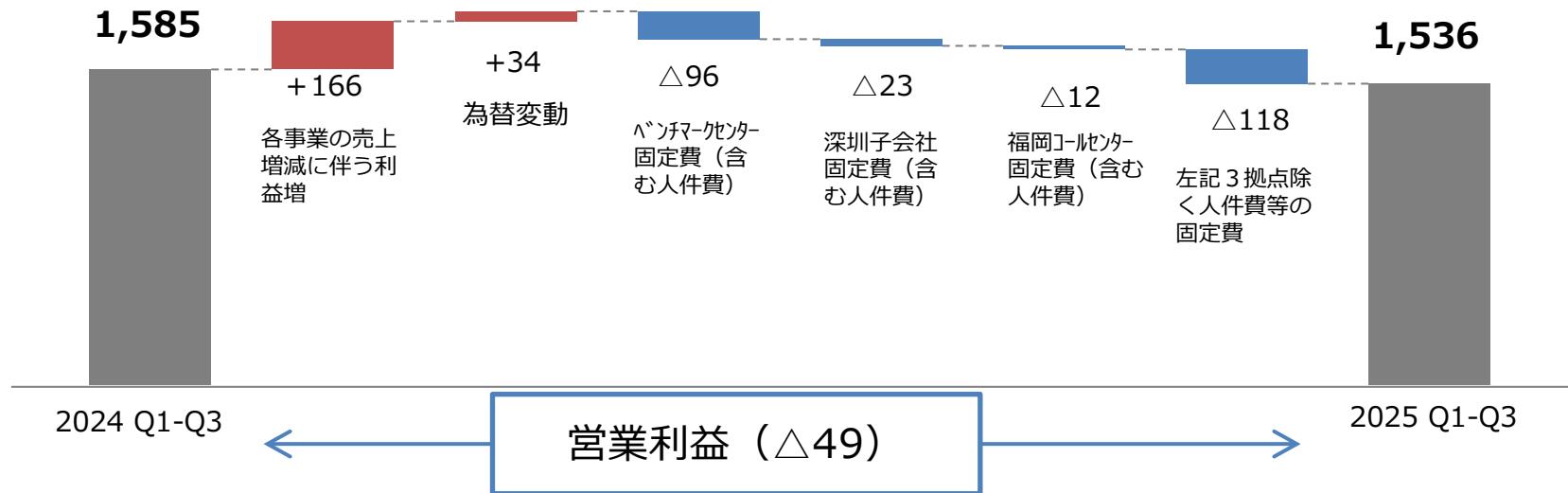
為替変動内訳

- 人民元、USドル、ユーロ、ポンド建ての売上が54百万円増加した。

連結業績サマリー

(単位：百万円)

連結営業利益増減要因 (前年同期比)



- ベンチマークセンター稼働に伴い人件費含む固定費はおよそ96百万円増加した。
- 3拠点を除く人件費含む固定費はおよそ118百万円増加した。
- 為替変動による増加の大半は情報プラットフォーム事業に係るものである。

対象	情報プラットフォーム事業の換算レート	2024Q3	2025Q3	換算方法
売上高	USD (各契約の換算レートの加重平均)	145.02	150.87	各契約の入金時のスポットレートで換算
	EUR (各契約の換算レートの加重平均)	156.51	162.87	各契約の入金時のスポットレートで換算
	CNY (期末スポットレート)	20.38	20.90	累計の人民元売上高を各四半期末のスポットレートで換算
費用	USD (期末スポットレート)	142.73	148.88	累計の米ドル費用を各四半期末のスポットレートで換算
	EUR (期末スポットレート)	159.43	174.47	累計のユーロ費用を各四半期末のスポットレートで換算
	CNY (期末スポットレート)	20.38	20.90	累計の人民元費用を各四半期末のスポットレートで換算

変化の先頭に

II. セグメント別損益

セグメント別損益

(単位：百万円)

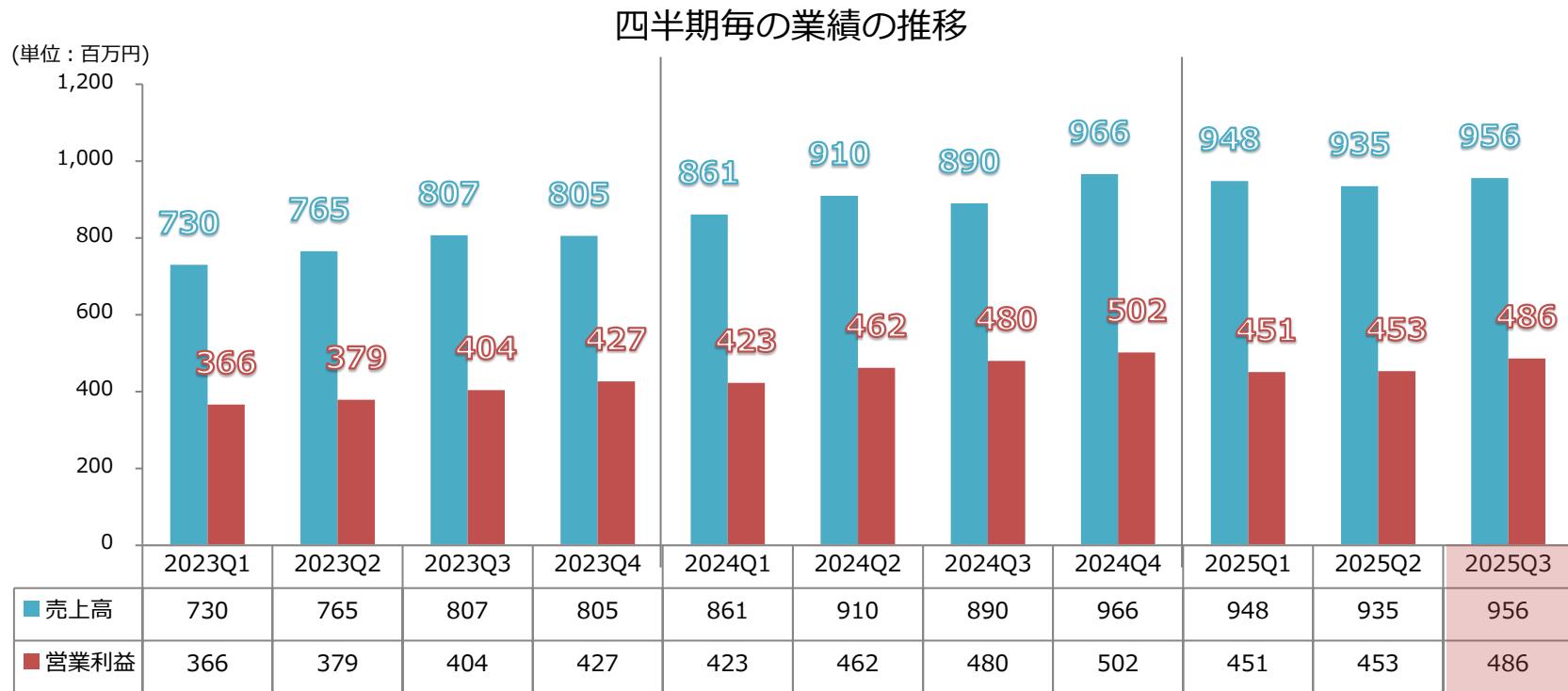
事業部		2024年 Q1-Q3実績	2025年 Q1-Q3実績	前年同期比	
情報プラットフォーム事業	売上高	2,663	2,841	+177	+6.7%
	セグメント利益	1,366	1,392	+26	+1.9%
プロモーション広告事業	売上高	80	101	+21	+26.2%
	セグメント利益	66	78	+11	+17.6%
市場予測情報販売事業	売上高	212	219	+6	+3.3%
	セグメント利益	62	65	+2	+4.6%
分解調査データ販売事業	売上高	105	116	+10	+10.1%
	セグメント利益	37	33	△3	△21.6%
車両・部品調達代行業務	売上高	380	336	△43	△11.4%
	セグメント利益	42	23	△19	△45.5%
自動車ファンド事業	売上高	29	29	△0	△0.1%
	セグメント利益	2	13	+11	+482.0%
コンサルティング事業	売上高	366	374	+7	+2.1%
	セグメント利益	10	△11	△22	-
人材紹介事業	売上高	60	74	+14	+24.2%
	セグメント利益	△23	△20	+2	-
車両分解・計測事業	売上高	93	69	△24	△26.0%
	セグメント利益	19	△32	△52	-
その他	売上高	-	-	-	-
	セグメント利益	-	△5	△5	-
連結売上高		3,991	4,162	+171	+4.3%
連結営業利益		1,585	1,536	△49	△3.1%

変動の元頭に

セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

① 情報プラットフォーム事業の業績概況

売上高は前期における契約純増及び人民元高の進行による增收の効果により6.7%の増加となった。全般的に日系・欧米メーカーの業績不振、及び業界内における不確実性の高まりを受け新規契約/解約に影響が出ている状況であり、足元では特に日本、中国及び欧州で苦戦を強いられているが、一方で北米地域は比較的好調に推移している。



セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

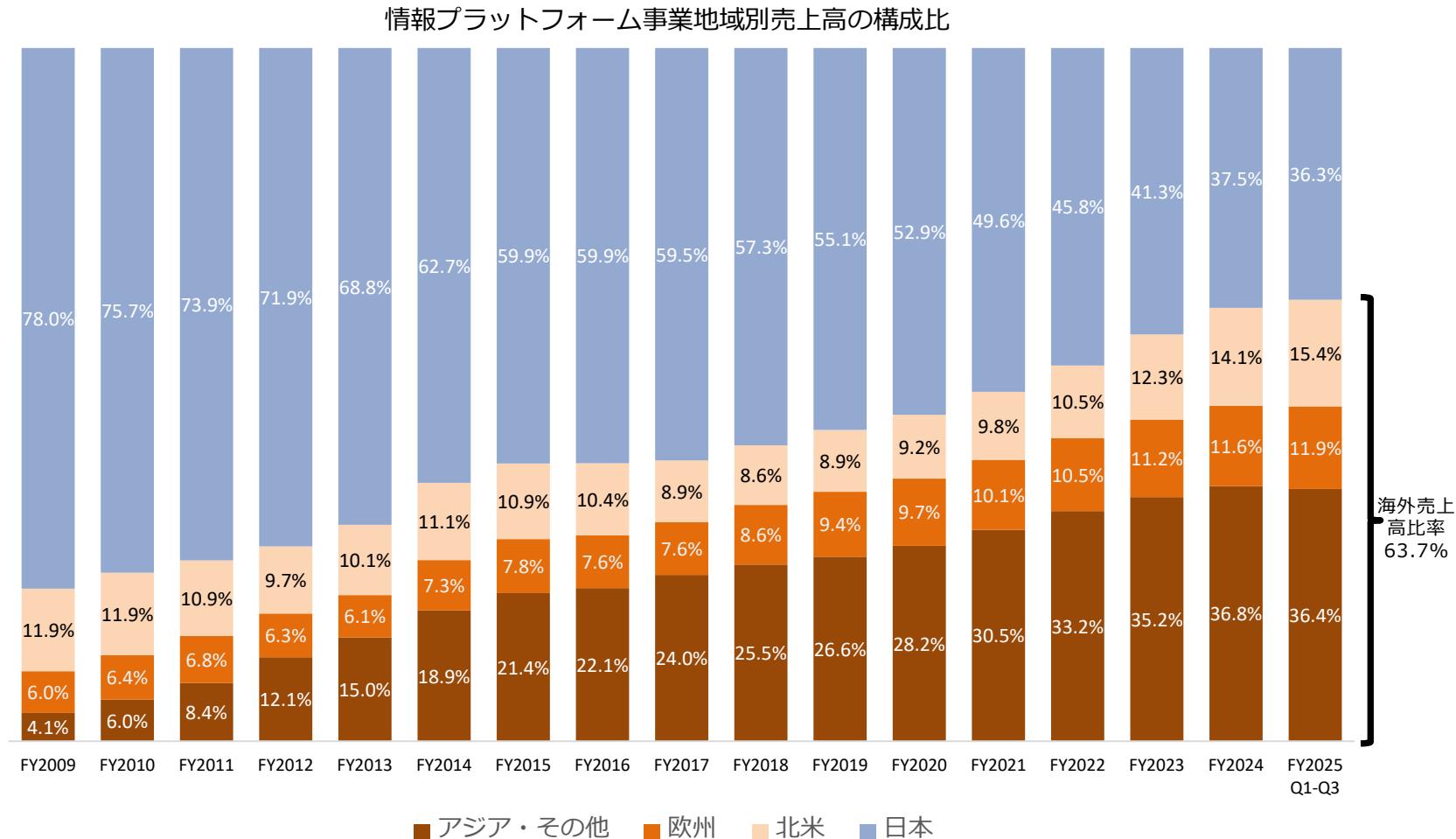
② 地域別売上高

(単位：百万円)

情報プラットフォーム事業の地域別売上高				
	2024年 Q1-Q3	2025年 Q1-Q3	前年同期 比 (%)	増減要因
日本	1,018	1,031	+1.3	前期における契約数增加の効果が持続し売上高も増加。
中国	452	476	+5.2	前年同四半期末との比較で人民元高に振れたことにより円換算後の売上高が増加。
アジア	487	534	+9.6	前期においてインドの新規契約獲得が好調だったこと、及び円安効果で売上高が増加。
北米	374	436	+16.6	契約獲得が比較的好調に推移したこと、及び円安効果により売上高が増加。
欧州	311	337	+8.4	前期の契約数増の効果、及び円安効果も持続し売上高も増加。
その他	19	25	+30.2	-
合計	2,663	2,841	+6.7	-

セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

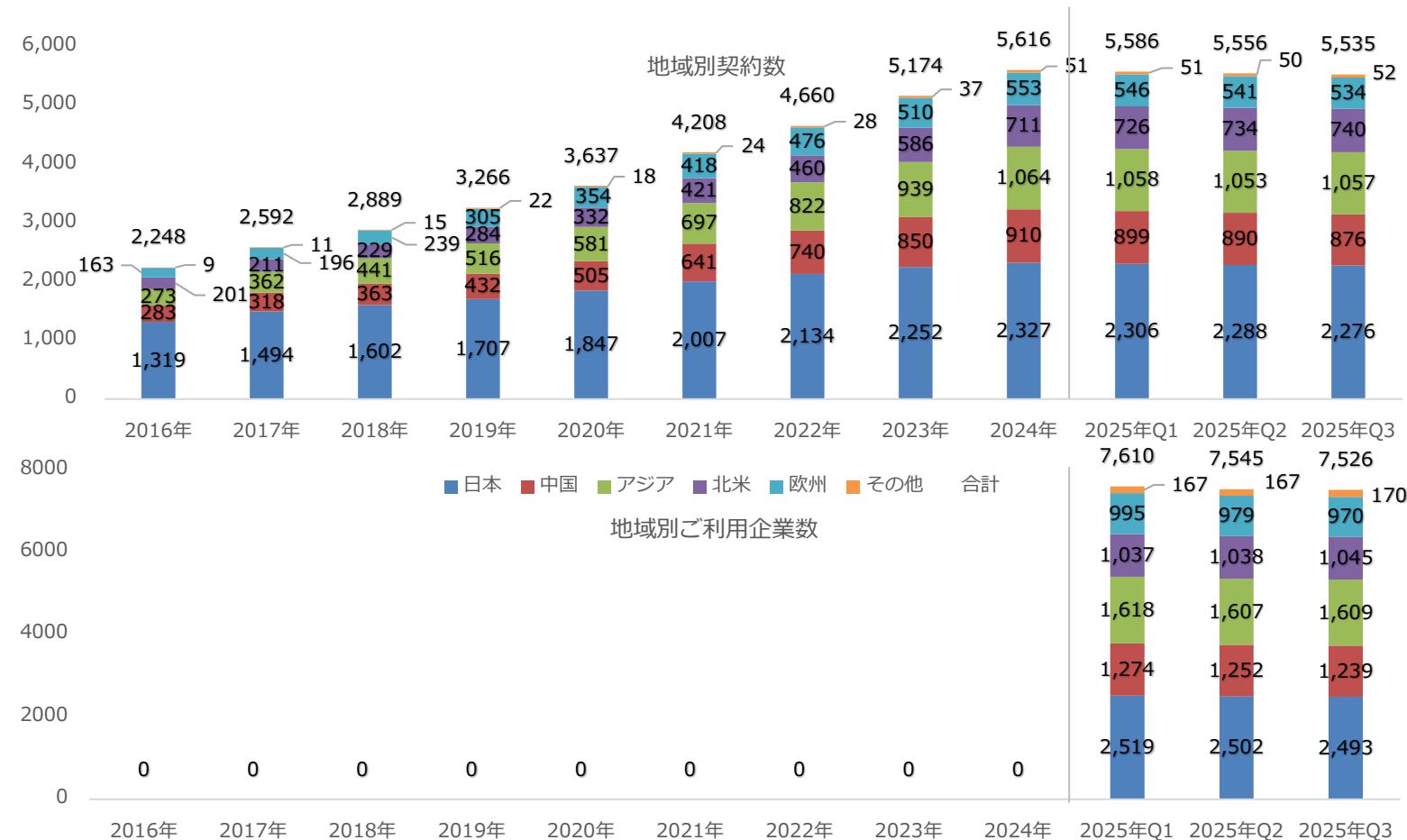
③ 地域別売上高の構成比



セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

④ 契約企業数及びご利用企業数

- 2025年に入り急速に外部環境が悪化したことを受け不況耐性に乏しい中堅・小規模企業の解約が増加し、日本、中国、欧州で契約数/ご利用企業数ともに減少した。
- 中国では、日系・欧米メーカーが苦戦していることに加え、過度な値下げ競争が起こるなど業界全体の利益水準が下がったことにより解約が特に多い状況だった。



セグメント別損益（情報プラットフォーム事業）

⑤ 主要通貨別の平均契約単価（現地通貨建て）

【新規顧客の平均契約単価】

通貨	2024年Q1	2024年Q2	2024年Q3	2024年Q4	2024年通期(a)	2025年Q1	2025年Q2	2025年Q3	2025年Q1-Q3(b)	変化率(b) / (a)
JPY	590,918	567,113	573,043	567,378	575,627	686,341	623,810	707,167	676,884	+17.6%
USD	4,917	4,790	4,769	4,636	4,779	5,061	5,213	5,492	5,235	+9.5%
CNY	36,538	35,193	33,480	35,689	35,287	35,480	36,487	34,803	35,555	+0.8%
EUR	5,261	4,045	4,485	4,291	4,584	4,871	4,799	5,221	4,977	+8.6%

- 無制限契約など比較的高価格帯プランの申し込みが増加し円建ての平均単価が押し上げられた。

【既存顧客の平均契約単価】

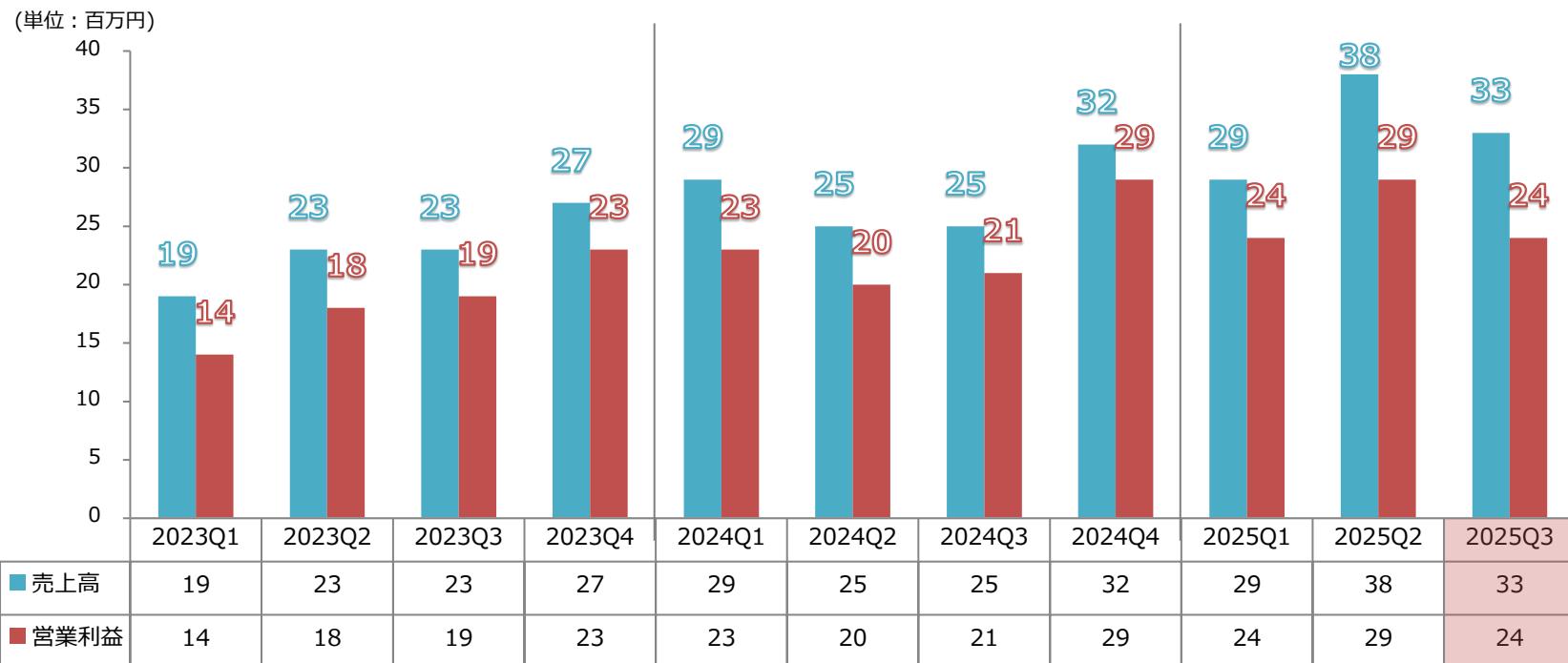
通貨	2024年Q4末(a)	2025年Q1末	2025年Q2末	2025年Q3末(b)	変化率(b) / (a)
JPY	585,378	592,586	596,599	601,033	+2.7%
USD	5,177	5,187	5,194	5,221	+0.8%
CNY	36,780	36,863	36,775	36,844	+0.2%
EUR	5,095	5,124	5,176	5,221	+2.5%

- 2025年1月以降、アップセル及びグローバル契約の推進に力を入れ始め、契約金額の引き上げに取り組んでいるが現時点ではその効果は限定的。
- 解約する企業は中堅・小規模企業の単価の低い契約が中心であるため、平均単価を若干押し上げる結果となつた。

セグメント別損益（プロモーション広告事業 **LINES**）

プロモーション広告事業は、リピート顧客からの受注が安定的に推移したこと、及び案件当たりの受注額が上昇したことにより好調に推移した。さらに、PRメール配信数の増加も手伝って売上高、セグメント利益ともに前年同期比約2割の増加となった。

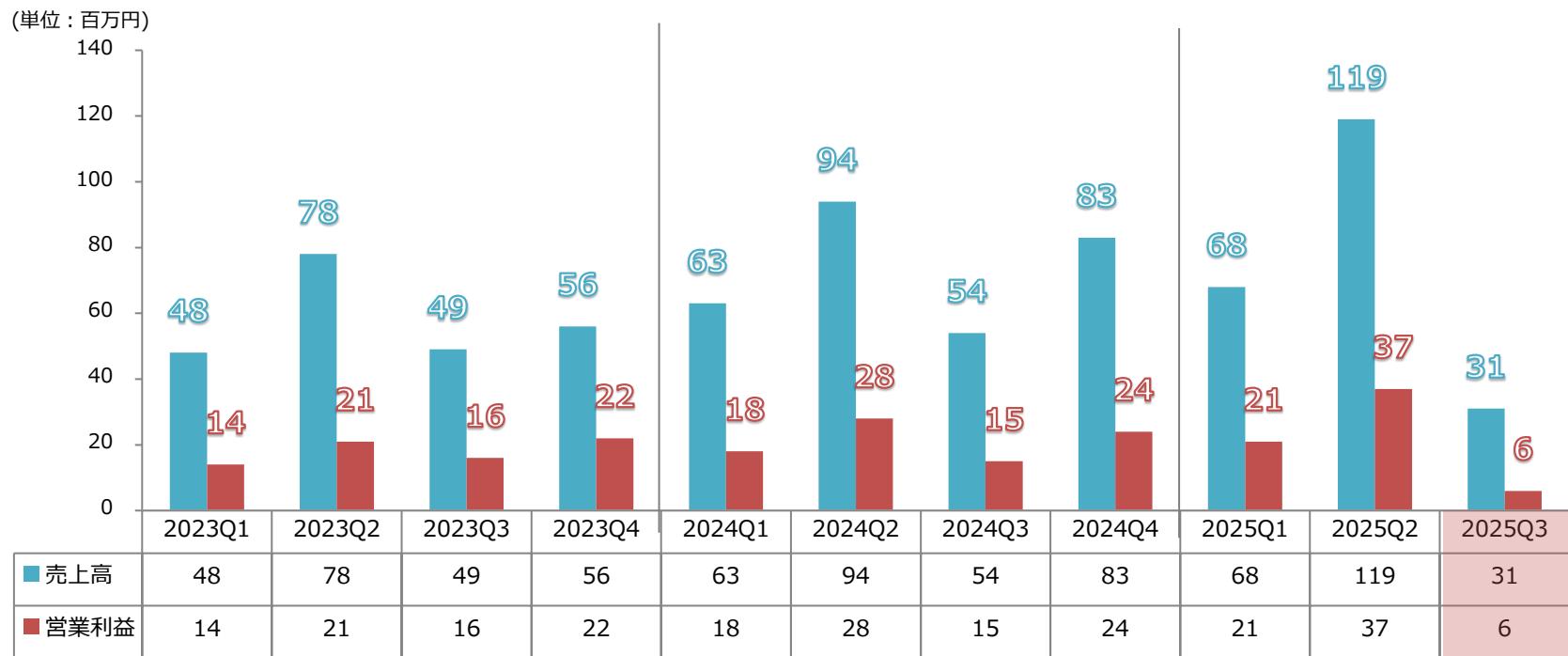
四半期毎の業績の推移



セグメント別損益（市場予測情報販売事業）

市場予測情報販売事業は、BYDなど中国メーカーの躍進により自動車産業界の勢力図が大きく変わること可能性があること、及び米国の関税政策によりサプライチェーン戦略を見直す機運が高まっていることなどから台数予測情報に対する需要も引き続き高水準で推移した。一方で、当第3四半期連結会計期間において顧客の予算削減などを理由とした解約が増加したことから、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で1桁台の増加に留まった。

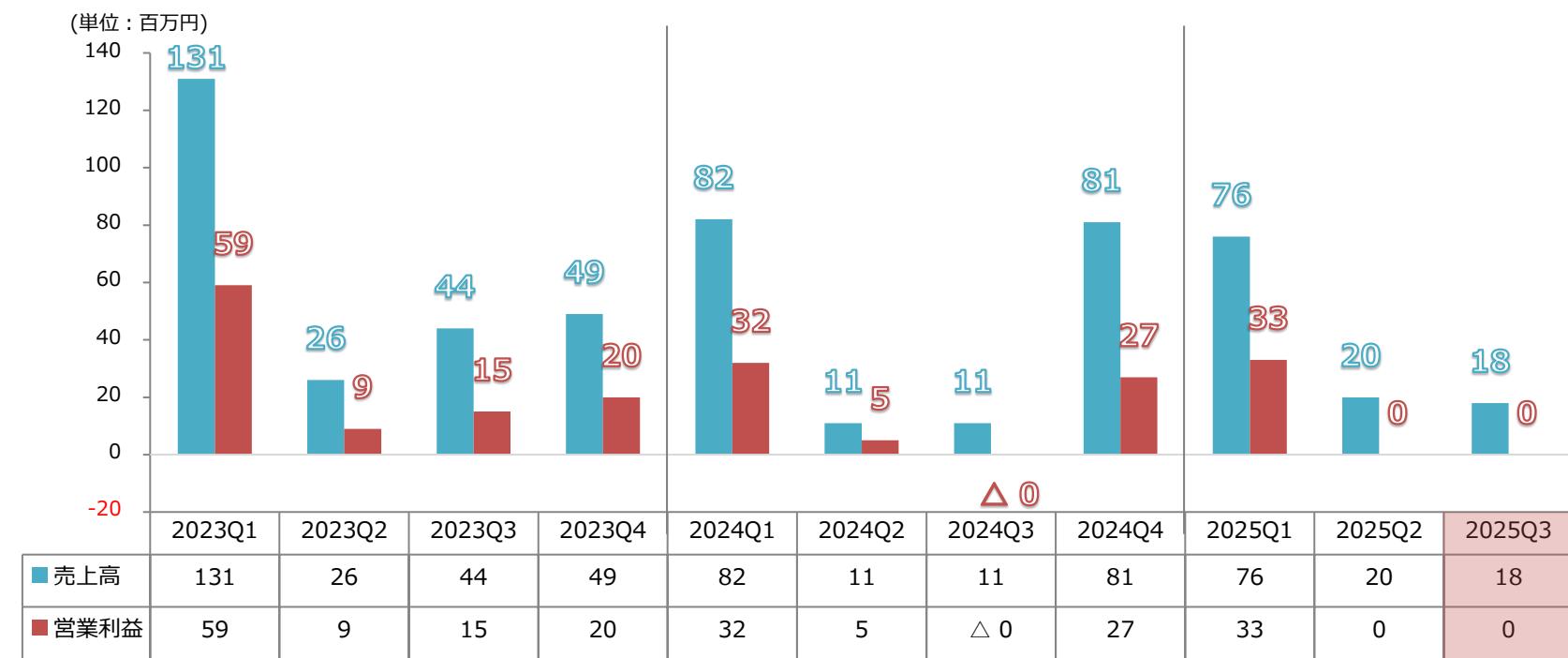
四半期毎の業績の推移



セグメント別損益（分解調査データ販売事業）

分解調査データ販売事業は、第1四半期は一定数の販売を見込んでいたTesla CYBERTRUCKの分析レポートが想定を下回るなど売上高は前年同四半期割れとなつたが、第2、第3四半期は提携先であるFEV社製のレポート販売などが貢献し、売上高が前年同期比で10.1%増加した。一方で、セグメント利益は固定費が増加したことにより減少した。

四半期毎の業績の推移



セグメント別損益（車両・部品調達代行事業）

車両・部品調達代行事業は、上期は車両本体など単価が高い調達案件が増加し売上増に寄与したが、第3四半期に入り受注が大きく落ち込み売上高、セグメント利益ともに前年同期比で減少に転じた。

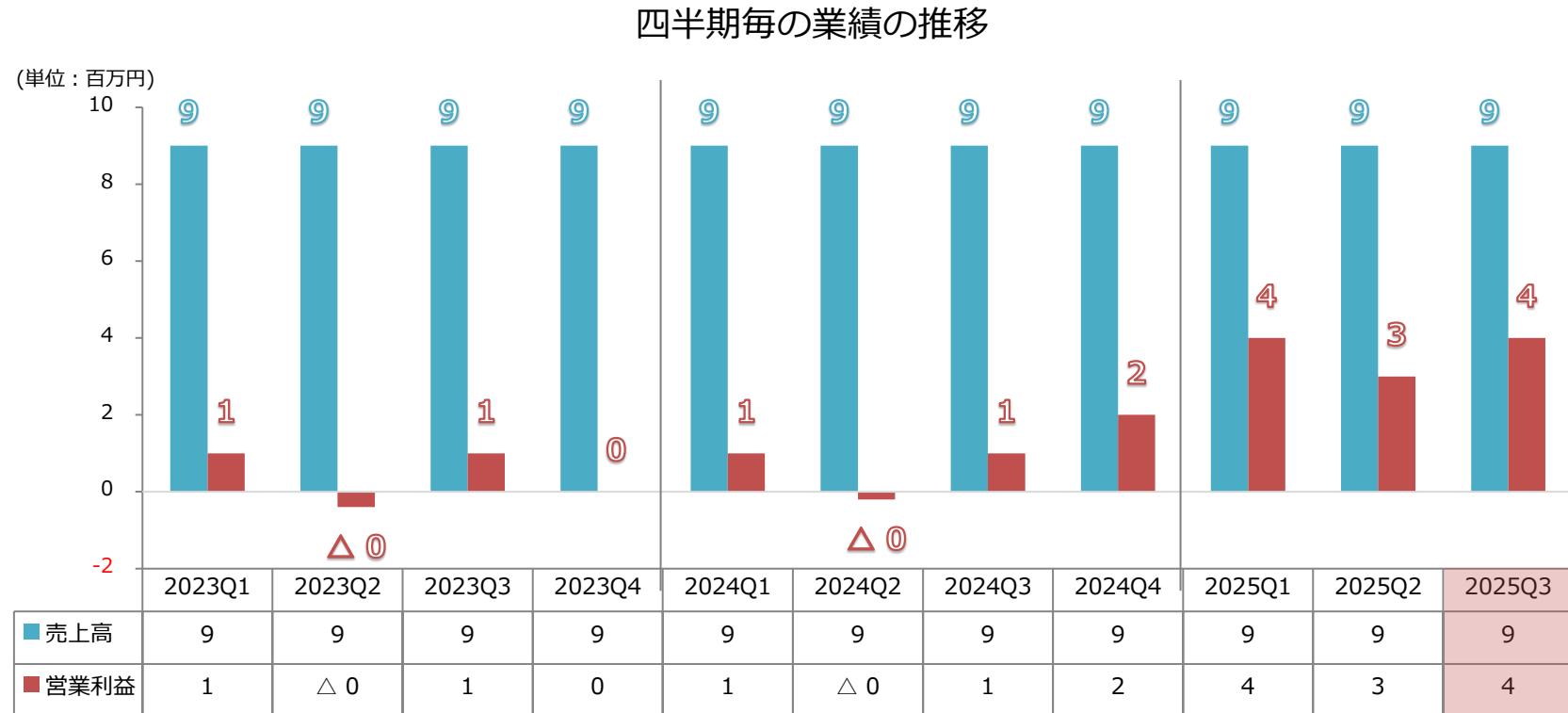
(単位：百万円)

四半期毎の業績の推移



セグメント別損益（自動車ファンド事業）

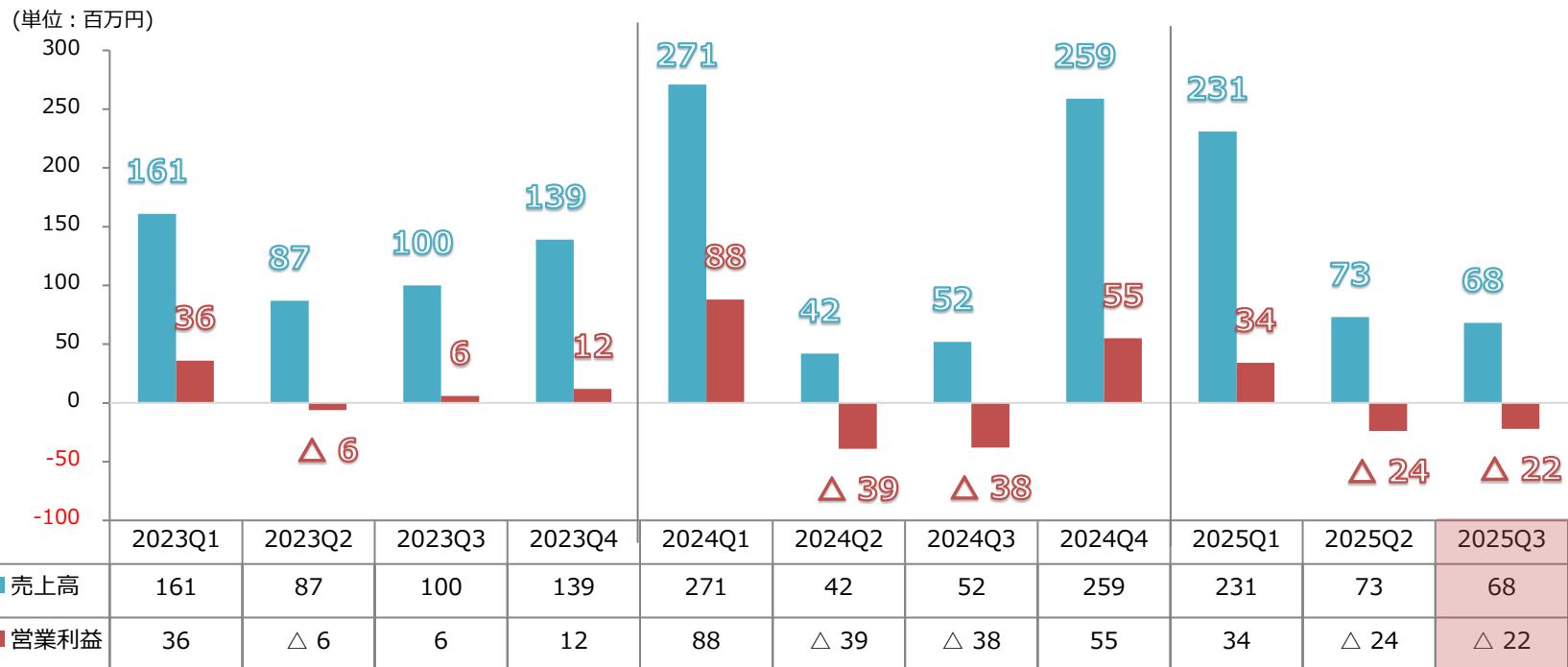
自動車ファンド事業は、関連会社である「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」から毎期定額で受領する管理報酬を売上として計上しているため売上高はほぼ横ばいだった。セグメント利益については、固定費減少を受け増加した。



セグメント別損益（コンサルティング事業）

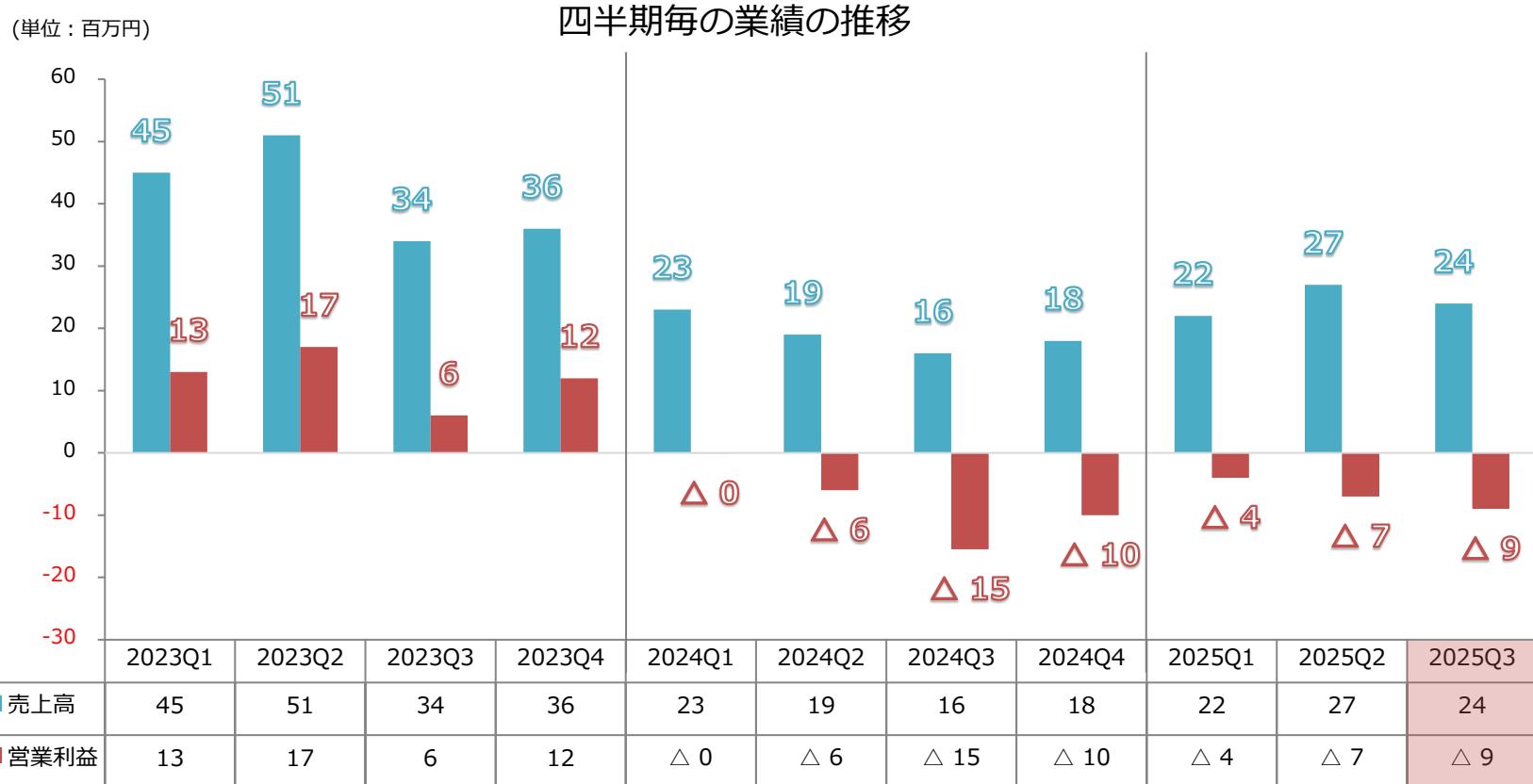
コンサルティング事業は、前期の第1四半期の業績が特に好調だった反動を受けたこと、及び自動車/部品メーカーが予算執行を差し控えていることなどが業績に影響を与えており、今期は自動車メーカー向けの技術展示会を開催するなど当該事業の認知活動を推進したことにより第2、第3四半期の検収件数は前年同四半期を上回った。これに伴い売上高は前年同期比で増加に転じたものの、セグメント利益については、利益率の低い案件が増加したこと、及びベンチマークセンターに係る固定費が増加した影響から赤字に転落した。

四半期毎の業績の推移



セグメント別損益（人材紹介事業）

人材紹介事業は、成約件数が33件(前年同期28件)となった。業績については、一部のメーカーで採用を絞る動きもあり引き続き低調に推移したが、最悪期は脱しゆるやかな回復傾向を示している。

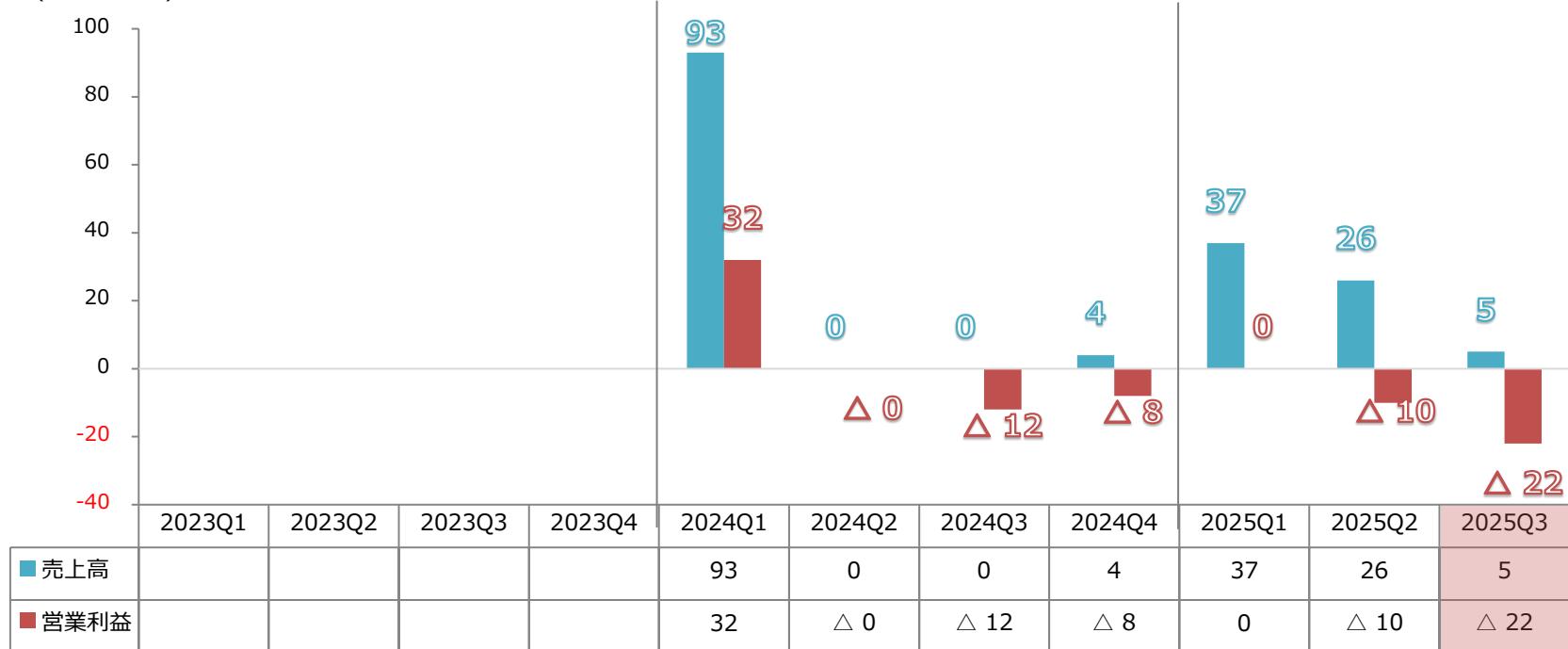


セグメント別損益（車両分解・計測事業）

車両分解・計測事業は、前期8月のベンチマークセンター稼働以降、積極的に認知活動を行った結果、多彩な案件の引き合いが届くようになり新規で商用車メーカーから請負い案件を受託するなど徐々に成果も上がっている。しかしながら、対前年同期では前期に計上した請負い案件が1億円と高額であること、更に業界全体で業績下押し圧力がかかっており自動車/部品メーカーが一時的に外注費圧縮を図っていることから当該サービスの受注も伸び悩み、売上高は前年同期比で減少するとともに利益面では32百万円の損失となった。

(単位：百万円)

四半期毎の業績の推移



III. 参考情報

■ 各事業部のセグメント利益又は損失 1/4

当社では、『事業部別セグメント損益』については、2024年第2四半期まで『調整額』として記載していた役員報酬、間接部門の人事費及びオフィスの賃料などの全社費用を2024年第3四半期から全額、各事業部の人員数に応じて各事業部に配賦したため、同四半期から各事業部のセグメント損益は表面上、悪化した記載となりました。これは、各事業の損益を正確に算出するために行ったもので最終損益には影響ありません。

下記は、従来の計算方法及び現在の計算方法双方のセグメント損益を四半期ごとに記載したものです。

情報プラットフォーム事業

(単位：千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
	売上高	セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	共通費配賦額	セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)						
売上高	861,923	910,808	890,856	966,265	3,629,853	948,626	935,780	956,951	0	2,841,358
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	518,581	555,549	582,152	607,307	2,263,591	579,888	579,229	598,697	0	1,757,815
共通費配賦額	-94,636	-93,209	-102,070	-104,506	-394,423	-127,897	-125,399	-112,136	0	-365,432
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)	423,945	462,339	480,081	502,801	1,869,167	451,990	453,830	486,561	0	1,392,382

プロモーション広告事業

(単位：千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
	売上高	セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	共通費配賦額	セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)						
売上高	29,313	25,964	25,056	32,852	113,187	29,634	38,547	33,171	0	101,353
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	26,198	22,780	23,453	31,581	104,014	27,126	33,352	27,989	0	88,468
共通費配賦額	-2,259	-2,198	-1,588	-1,623	-7,670	-2,410	-4,191	-3,792	0	-10,394
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)	23,939	20,581	21,865	29,957	96,343	24,715	29,161	24,196	0	78,073

※ セグメント利益又はセグメント損失（2024Q2までの計算方法）：従来の計算方法

セグメント利益又はセグメント損失（2024Q3以降の計算方法）：現在の計算方法

共通費配賦額：第2四半期までの調整値（全社費用）

■ 各事業部のセグメント利益又は損失 2/4

コンサルティング事業

(単位 : 千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
売上高	271,240	42,900	52,160	259,620	625,920	231,918	73,264	68,875	0	374,058
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	103,556	-18,363	-10,826	81,807	156,173	64,930	3,505	1,544	0	69,980
共通費配賦額	-15,131	-21,061	-27,804	-26,450	-90,446	-30,003	-27,959	-23,890	0	-81,854
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)	88,425	-39,424	-38,630	55,357	65,727	34,927	-24,454	-22,345	0	-11,873

市場予測情報販売事業

(単位 : 千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
売上高	63,578	94,372	54,344	83,361	295,657	68,356	119,302	31,558	0	219,217
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	19,760	30,077	18,424	27,267	95,530	24,658	40,665	8,609	0	73,933
共通費配賦額	-1,129	-1,777	-2,470	-2,423	-7,801	-2,826	-2,794	-2,528	0	-8,149
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)	18,631	28,300	15,953	24,844	87,729	21,832	37,871	6,080	0	65,784

人材紹介事業

(単位 : 千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
売上高	23,748	19,747	16,612	18,668	78,776	22,473	27,481	24,722	0	74,678
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	5,005	318	-6,808	-2,137	-3,621	4,562	3,792	924	0	9,279
共通費配賦額	-5,648	-7,274	-8,646	-8,483	-30,052	-8,988	-11,177	-10,113	0	-30,278
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)	-642	-6,955	-15,454	-10,621	-33,673	-4,425	-7,385	-9,188	0	-20,999

※ セグメント利益又はセグメント損失（2024Q2までの計算方法）：従来の計算方法

セグメント利益又はセグメント損失（2024Q3以降の計算方法）：現在の計算方法

変化の先頭に 共通費配賦額：第2四半期までの調整額（全社費用）

■ 各事業部のセグメント利益又は損失 3/4

車両・部品調達代行事業

(単位:千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
売上高	154,232	80,595	145,188	114,741	494,756	162,775	90,609	83,468	0	336,853
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	28,748	6,076	30,355	17,545	82,725	31,774	11,801	10,931	0	54,506
共通費配賦額	-5,688	-6,533	-10,234	-10,082	-32,539	-9,124	-9,760	-12,324	0	-31,209
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)	23,060	-457	20,120	7,462	50,186	22,649	2,040	-1,393	0	23,297

分解調査データ販売事業

(単位:千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
売上高	82,107	11,912	11,405	81,166	186,591	76,797	20,989	18,242	0	116,029
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	33,523	6,875	2,684	30,350	73,433	36,328	3,343	2,986	0	42,659
共通費配賦額	-1,079	-1,241	-3,327	-3,338	-8,987	-2,729	-3,233	-2,918	0	-8,882
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)	32,443	5,633	-642	27,012	64,446	33,599	109	67	0	33,776

車両分解・計測事業

(単位:千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
売上高	93,600	0	0	4,560	98,160	37,020	26,532	5,720	0	69,272
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	36,341	-2	-7,208	-1,107	28,023	10,513	-161	-12,643	0	-2,291
共通費配賦額	-3,388	0	-5,771	-7,889	-17,049	-10,401	-9,862	-9,910	0	-30,174
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)又はセグメント損失 (2024Q2までの計算方法)	32,952	-2	-12,979	-8,996	10,974	112	-10,024	-22,554	0	-32,466

セグメント利益又はセグメント損失 (2024Q3以降の計算方法) : 現在の計算方法

共通費配賦額 : 第2四半期までの調整額 (全社費用)

変化の先頭に

■ 各事業部のセグメント利益又は損失 4/4

自動車ファンド事業

(単位：千円)

	2024Q1	2024Q2	2024Q3	2024Q4	FY2024	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	FY2025
売上高	9,746	9,746	9,853	9,853	39,200	9,665	9,773	9,880	0	29,318
セグメント利益又は損失 (2024Q2までの計算方法)	1,315	-384	1,448	2,824	5,203	4,884	3,984	4,981	0	13,849
共通費配賦額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セグメント利益又は損失 (2024Q3以降の計算方法)	1,315	-384	1,448	2,824	5,203	4,884	3,984	4,981	0	13,849

※ セグメント利益又はセグメント損失（2024Q2までの計算方法）：従来の計算方法

セグメント利益又はセグメント損失（2024Q3以降の計算方法）：現在の計算方法

共通費配賦額：第2四半期までの調整額（全社費用）